

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

うりずんの想い

私たちの住む地域のどこかで、
重い障がいを抱えた子どもたちと
24時間その子どもを介護している家族が暮らしています。
うりずんは、子どもたちが友だちと楽しく遊び、
両親は介護から離れひと休みできる場所です。
障がいを持った子どもと家族に
「普通」に暮らすことができる社会を目指しています。



「春が来た!」

「うりずん」は、春と夏の間をさす沖縄の季節表現です
本州では通信春号がお手元に届く黄金週間の頃でしょうか
雨が大地に沁み、草木が芽吹き、花が咲きます
そしてやぶあやぶあとやさしい風が吹くのです
3月、うりずんを去るご利用者、スタッフとの別れがあり
4月、新しいご利用者、スタッフとの出会いがありました
今年のうりずんは、新たなチャレンジの予感が漂います
支えて下さる皆さん、いつもありがとうございます

令和4年4月

認定特定非営利活動法人うりずん

理事長 高橋 昭彦



誰にとっても、当たり前の春が来るといい

どんなに世の中が揺れても、桜が毎年咲くように、誰にとっても、当たり前の春が来るといいと思います。ある少年は、病気を新たに抱えて新中学生になり、どのように学校に通うか、どう配慮してもらうかを相談することになりました。ある少女のお家では、桜の咲く頃、おばあさんが亡くなりました。おばあさんはできる限りお風呂に入りたかったので、少女はおばあさんを見守りながら一緒にお風呂に入りました。少女はおそらく家で家族が亡くなるという経験はなかったでしょう。この春の少女の経験は、おばあさんからの大切な贈り物になりました。

ある男の子は、小学生になりました。その子どもには医療的ケアが必要でした。お父さんとお母さんは、通学したいと希望しましたが、教育側は「安全性を確保できない」ということで、

直前までどうなるかわからない状態でした。しかし何度も話し合いを重ね、ついにこの春から、学校に通学できることになりました。どのような体制で行うのか、通学をどうするか、など課題はたくさんありますが、希望すれば、保護者の付き添いなしで子どもが学校で友達と一緒に学べるようになります。子どもは、これから卒業するまでの間、日中は親から離れて、お友達や学校の先生たちとの



(写真1) 満開の桜

かけがえのない時間を過ごすでしょう。これは、本来どの子どもにも必要なプロセスなのです。

誰にとっても、当たり前の春が毎年訪れますように(写真1)。

冬の雲竜渓谷に行ってきました

奥日光大好きな私は、2月上旬に雲竜渓谷へ行ってきました。この渓谷は、厳寒期に凍り、寒かった今年は見事な氷瀑、氷柱が待っていました。私事です長男が参加するツアーに便乗しました。長男の同級生がツアーガイドをしており、今回の参加者9人のうち、7人が長男の友人であることから、非常に一体感のあるツアーとなりました。今回のために、冬の装備を整え、東武日光駅に7時集合、ワゴン車で途中まで進み、そこから雪道を歩きました。慣れない軽アイゼンで凍った坂を上ります。氷点下の寒さが体力を奪い、上り坂で脈拍が150になると息も絶え絶えですが、若いものに負けてはいられません。11時雲竜渓谷到着。目の前の壁は、山水が沁み出たところが凍った巨大な氷柱が連なる絶景でした(写真2)。雪の中でお昼に食べたカップ麺のなんと美味しかったこと。15時30分ごろに解散となりました。渓谷の往復で歩いたのは24,000歩でした。若者たちと一緒にに行けたことを感謝しつつ、もう少し鍛えておかねばと思った次第です。一生に一度は行っておきたいところに行くことができました。



(写真2) 雲竜渓谷 令和4年2月



はりゆん卒園おめでとう



令和4年3月14日、暑いくらいの陽気の中、はりゆん卒園式が行われました。今回の卒園児は4名。今年も新型コロナウイルスの感染症対策のため規模を縮小、在園児や他事業のご利用者も別室にてオンラインで参加しました。



緊張した表情の子どもたちでしたが、予行で練習した通り、視線や表情、声などで上手に返事し、卒園証書を受け取ることができました。式の途中で理事長から子どもたちへ、ユーモアたっぷりの一言と記念品のプレゼントがあり、一気になごやかな雰囲気に包まれました。



卒園式後、テラスで在園児・日中一時や放デイのお兄さんやお姉さんから歌やお花、最後は大きなクラッカーのプレゼントがあり、今年も、卒園する4人へお祝いの気持ちがたくさんのあたたかい式となりました。(齋藤志津香)



卒園おめでとうございます!



うりずん応援団

そっせん
おめでとう!



わらゆん 卒業おめでとう



後輩からアルバム贈呈

3月で、のざわ特別支援学校高等部をご卒業と同時に、わらゆんをご卒業されるお二人の卒業を祝う会を行いました。わらゆん開設当初からご利用のお二人。6年間、元気に通ってくれました。

卒業
おめでとう!

12年間の学校生活を終え、新しい道を歩むお二人にエールを送りたいと思います。(大森美樹)



花道

表裏一春

～ひょうりいっしゅん～

KOMEY

春の訪れは、表と裏
二つの意味を持っている

それは、出会いの季節であり
別れの季節でもある

人々は、春に涙を流し
春に笑顔の花が咲く

桜が春に咲いて
春のうちに散ってゆくように

表と裏、そのどちらも
宝石のように美しい

どんなに暗い時代であっても
僕らの未来を照らすように

今年も春がやって来る

コロナ禍のちょっと良い話

事務局長 我妻 英司

も う2年も！ 新型コロナに翻弄される毎日が続いています。この間、栃木県では緊急事態宣言が3回、まん延防止等重点措置が2回。もういい加減にしてほしいところです。この2年間マスクや消毒液など衛生物品の不足からはじまって、何より秋のふれあいまつりやクリスマス会などのイベントがことごとく中止になり、ご利用者様ご家族の皆様との楽しいひと時が失われたことが大変辛かったです。さて、暗い話はこれくらいにして、今回はコロナ禍でも「ちょっと良かったこと」をお話したいと思います。

た とえば、県外などへの遠出ができなくなった分、交通費や宿泊費などの出費が抑えられたとか、何かと気を遣う親類宅への訪問を回避する口実になったなど、コロナ禍ならではの利点もあるようです。「物事には良い面と悪い面の両面が同じ数だけある」という話を聞いたことがあります。今回はコロナ禍でもちょっと良いことを見つけてみたいと筆を執らせていただきました。

ま ず、Zoom などを使ったオンライン会議では、普段はなかなかお会いできない遠方の方々と気軽に意見交換ができるようになったこと。クリスマス会もオンラインで行いましたが、スタッフの並々ならぬ気合に、ご利用者様ご家族様と楽しい時間を共有したい！ という意気込みを感じるとともに、画面の中いっぱいの笑顔に感動したこと、などなど。ドリーム

ナイト・アット・ザ・ズーだけが対面開催できましたが、お子様たちの楽しげな姿に、改めて対面で交流することの素晴らしさを実感することができました。

一方、マスクが全く手に入らなかった頃、多くの方々がマスクを寄贈してくださり、中には送り主がわからないまま段ボール箱一杯のマスクが玄関に置かれていたこともありました。ほんとうに感謝です。

最近では、近くの中学校の生徒さん手づくりの消毒液スタンドを教頭先生が届けてくださったりと、助け合い精神あふれるご厚意に、感謝の気持ちでいっぱいです。

コ ロナ禍でのちょっと良い話とは、結局のところ、当たり前に対面で、密で、楽しんでいた以前の生活が、実は大変貴重なことだったことに気づいたことかもしれません。一刻も早くコロナが終息して、また、皆様と一杯やれる日が来ることを切に願っています！



宇都宮市立晃陽中学校の生徒さん手づくりの消毒スタンド

おいしいもの紹介

フラットワークス カフェ

今回はアシストン(株)が経営する、地域の方の憩いの場としてオープンした「フラットワークス カフェ」の紹介です。

障がい者支援と地域交流を目指し5年目を迎えます。カフェの隣には就労継続支援 B 型事業所があり各種の作業活動そして希望する利用者がカフェ内で働いています。カフェはゆっくり、ゆったりスペース、店内はバリアフリーになっていてトイレも車椅子可です。ペット同伴もオッケーです。

現在はコロナ禍でお休みになっていますが、月1回地域交流の場としてサロンも開いています(現在は再開を目指して調整中)。事業所内敷地に畑もあり野菜を育て、カフェメニューのサラダに提供もしています。ランチ時はおすすめメニューを目当てに多くのお客様ににぎわっています。フラットカフェ珈琲も人気です。ぜひふらっと～行ってみませんか。(渡辺みゆき)



居心地の良いバリアフリーの店内



ふらっと寄りたくなるカフェ、公園がお隣にあります。



人気のおすすめメニュー

■ フラットワークス カフェ
宇都宮市戸祭町 2123-1 ☎ 028-678-6388
【営業時間】 10:30 ~ 17:30
【定休日】 日曜日 不定期で土曜日休み有
【駐車場】 10台



保育士 善林 里帆

今 年も北海道滝川市の『そらぷちキッズキャンプ』様から雪のプレゼントを頂きました。

ふわっふわでさらさらの雪で雪だるまやかき氷を作りました。手が真っ赤になるまで触ったり、冷たさにびっくりしたり…たっぷり雪を楽しみました。



ふわふわ雪、冷たいね

お 雛祭りでは、ひし餅積みゲームをしました。スタッフ手作りのひし餅をみんなで協力して高く積み上げます。どんどん高くなってきた!! と思ったら、ニコニコの笑顔で倒すお友達。そしてまた真剣にひし餅を積んで倒れての繰り返し。倒れた時のみんなの笑顔はキラキラ輝いていました。



ひし餅つめたよ!



ぽ か ぽ かい 天気の日には春を探しにお散歩にも行きました。タンポポやちょうちょ、ミツバチなどたくさんの春を見つけました。空からはヘリコプターの音が聞こえてきてみんなで空を見上げて探しました。これからもたくさんお散歩しようね。

春の陽差しが気持ちいい♪

<<< 各事業稼働状況 >>>

日中一時支援事業

● 2022年1月～3月のご利用状況 (人)

1月	2月	3月	合計
130	137	125	392

* いずれも延べご利用人数です

● 現在の登録状況…………… 56名 (3月31日現在)

居宅介護事業

● 現在の登録状況…………… 24名 (3月31日現在)

移動支援事業

● 現在の登録状況…………… 14名 (3月31日現在)

相談支援事業

● 現在の登録状況…………… 22名 (3月31日現在)

児童発達支援・放課後等デイサービス事業

● 2022年1月～3月のご利用状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	69	87	111	267
放課後等デイサービス	66	72	81	219

* いずれも延べご利用人数です

● 現在の登録状況 (3月31日現在)

* 児童発達支援…………… 14名

* 放課後等デイサービス…………… 23名

見学・ボランティア等ご来所者数

● 2022年1月～3月のご来所状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
見学者	2	8	3	13
ボランティア	3	0	0	3
計	5	8	3	16

※ 詳細につきましては、認定NPO法人うりずんHP「事業所案内 活動報告」をご参照ください。

うりずんの仲間たち

かわはら はやた
お名前: 河原 颯汰さん

年齢: 2歳

ニックネーム:

はやちゃん、はやたさん

好きなこと:

お風呂、音・光のでるおもちゃ、絵本のページめくり、ベビーダノンを食べること

嫌いなこと:

通院、ベビーダノン以外の食事

うりずんでどんなところ?:

こどもに家族以外の人との関わりを経験させてあげられるところ。

メッセージ: 息子が今日うりずんでどんな事をしてきたのか聞くのを、お迎えに行く時いつも楽しみにしています。これからもどうぞよろしくお願いします。



すずき おうひ
お名前: 鈴木 桜陽さん

年齢: 5歳

ニックネーム: おーちゃん

好きなこと:

クロネコヤマトのトラックを見つける事

嫌いなこと: 歯みがき、爪切り

うりずんでどんなところ?: 初めての体験がいっぱい、お友達に会えるところ

メッセージ: 朝、ママから離れて泣いていた

桜陽が今は自分から手を振り中へ入っています。

お迎え時に見せてくれる笑顔は毎回キラキラの笑顔です。

うりずんでの沢山の経験と愛のあるスタッフの方々のおかげ

です。成長していく姿と一緒に見守ってくださりありがとうございます。

息子だけでなく私たち家族の事まで気に掛けてくださり沢山救われて

きました。愛に溢れたうりずんに出逢えて幸せです。



ご家族に伺いました♪

令和3(2021)年度研修報告

① 栃木県小児在宅医療体制構築事業

今年度も栃木県より小児在宅医療体制構築事業を受託し研修会等を行いました。

小児在宅医療実技講習会は、第5回目の開催となり、今年度は、自治医科大学附属病院とちぎ子ども医療センター小児科教授・小坂仁さんをはじめ、自治医科大学の先生方にご講義をいただきました。

また、多職種研修会は、今年度から実務研修会と名称が変更され、年間通して3回実施しました。実務研修会①では、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律について」（講師：元栃木県社会福祉士会会長・檜山光治さん）、2021年9月18日に施行された「医療的ケア児支援法」のことも踏まえた内容でご講義いただきました。実務研修会②では「きょうだい支援」（講師：きょうだい会 SHAMS 代表・滝島真優さん）、実務研修会③「ブラックアウト時における人工呼吸器装着者への対応・災害発生時の関係機関との連携体制づくり」（講師：医療法人稲生会理事長・土畠智幸さん）についてご講義いただきました。

コロナ禍のため、今年度も全てオンラインでの開催となりましたが、県内在住の当事者ご家族様や支援者の皆様のみならず全国の皆様と共に、小児在宅医療の体制づくりを学ぶ機会をいただきました。

本年度の栃木県小児在宅医療体制構築事業の実施報告は以下の通りです。

【令和3(2021)年度 栃木県小児在宅医療体制構築事業】

第5回小児在宅医療実技講習会（11/14（日）参加者 114名）

小児在宅医療実務研修会①（9/19（日）参加者 68名）

小児在宅医療実務研修会②（10/24（日）参加者 58名）

小児在宅医療実務研修会③（2022/1/23（日）参加者 52名）

医師向け訪問診療同行研修（随時 2021年度 3件）

小児在宅医療に関わる医師等を対象とした相談支援事業
（随時 2021年度 31件）



10/24
小児在宅医療実務
研修会②
講師の滝島真優さん
とファシリテーターの皆さんと



11/14 実技講習会 黒瀬永寿さん



11/14 実技講習会の様子 小坂仁さん

② 第2回 喀痰吸引等研修指導看護師養成研修 (2021/6/19) 第7回 喀痰吸引等研修 (第三号研修) (2021/6/19.6/20 開催)

今年度は2名の介護職・保育士の方と、3名の看護師の方に受講いただきました。

講師は実務研修会①でもご講義いただきました檜山光治さんと、当法人をご利用の稲葉雄大さんとお母様の稲葉七美さんに、当事者ご家族の想いをお話していただきました。また、人工呼吸器や排痰補助装置について、呼吸器業者さんにもご講義をいただき、実際に器械に触れていただくことができました。



(金澤知子)

第3号研修 当事者ご家族の講演の様子

若い力!! 第2回うりずんインターン

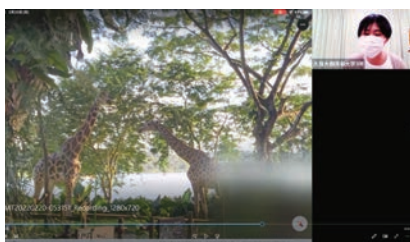
今年も「たかはら子ども未来基金助成金」を活用して2021年9月から2022年2月までの期間、宇都宮共和大学3年生の久保大樹さんと、石川美玖さんにインターン生として活動をしていただきました。お二人には、きょうだい児のイベントの企画・立案をしていただきました。

最初の企画は、令和4年1月末に行う予定でしたが、オミクロン株の猛威のため中止。しかし、急きょ2月に『ZoomでZOO!!～動物探検隊になって世界の動物を観に行こう～』を開催いたしました。参加者は、急な変更の中、3家族9名の方が参加くださいました。

Zoomで、Google Earth（グーグルアース）をみんなで見ながら、日本の動物園、シンガポールの動物園の中に入り動物を観て楽しみました。

企画した、インターンのお二人からは、「企画するのは大変だったけど楽しんでもらえて良かった」

「ご家族の温かさに触れて、またいつか、うりずんの利用者様やきょうだい児と関わる機会があったら良いなと思います」と嬉しい感想をいただきました。また、ご家族からも「子供たちも私たちも楽しく過ごすことが出来ました」「学生さんたちがうりずんに興味を持っていてくれるだけで、本当に嬉しいです!」「終始ワクワク感が止まりませんでした!」との言葉をいただき、今年もインターン生を受け入れできたことを嬉しく思います。(佐藤英治)



シンガポール動物園



アドベンチャーワールド (和歌山県)

「うりずん応援団」コーナー

NPO法人うりずん寄付者名簿（敬称略）

令和4年1月1日～3月31日（到着分）

ご寄付 3,418,954 円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者 延べ141名（うち匿名21名）

青森県	宇都宮市 市原 征洋	宇都宮市 下泉 秀夫	宇都宮市 箱石 亮子	宇都宮市 渡辺みゆき	那須烏山市 三上 綾子	和光市 浅野 政子	横須賀市 向ヒコ薬局
青森市 大瀧 潮	薄井 益美	助名 弘美	橋本 紀子	鹿沼市 五月女善照	那須塩原市 高根澤 孝	本庄市 坂本喜久枝	大阪府
岩手県	宇都宮中央ライオンズクラブ	助名真由香	橋本 正行	豊田 紀子	日下部 慎	川口市 斉藤 喜作	池田市 高橋 昭夫
一戸町 田中 恭子	大内 陽子	助名 善夫	半田江津子	丸山 和也	真岡市 趙 達来	さいたま市 渡邊 誠	滋賀県
宮城県	太田 照男	須藤 勝則	半田 孝	日光市 大嶋 洋子	下野市 石川由紀子	川越市 森脇 浩一	大津市 淵元 浩二
大崎市	大山航太郎	大門 亘	福本知恵子	大橋てる子	河野 由美	戸田市 小林 洋一	米原市 小椋 一司
医療法人心の郷 穂波の郷クリニック	大類 恵美	武井 大	藤野 正勝	大橋 康宏	小島 好子	東京都	奈良県
仙台市 田中総一郎	金澤 知子	竹下 裕子	船瀬 安子	加藤 浩治	栃木市 青木浩一郎	新宿区 敷田 牧子	橿原市 加藤 久和
成田由加里	金子 徳代	種村 昭子	増山 文男	木村 弘明	川嶋 陽子	港区南 酒井三貴子	京都市
群馬県	関キープキャリアール	塚田 貴子	黛 久美子	医療法人社団志幸会 木村内科医院	足利市 尾澤 嘉孝	文京区 尾崎 雄	京田辺市
前橋市	小池 譲	手塚耳鼻咽喉科医院	宮本 一美	大門口 泰子	高根沢町 佐藤 正行	渋谷区 市川 冽	JAMMIN 合同会社
松豊小児科 松島 宏	小須田るみ	手塚 敏子	表倉 泰子	田中 耐	壬生町 独協医科大学病院	練馬区 櫻林郁之介	熊本県
栃木県	小堀 徹	床井 忠夫	武藤 高茂	松尾 由記	看護部 訪問看護	大田区 荒木 光子	熊本市 岡田 誠治
宇都宮市 秋野 毅	駒場 哲子	栃木県民共済生活協同組合	柳田 蔵	山口健太郎	濱野 淳子	品川区 菱沼 郷	愛媛県
荒井 南美	近藤 貴子	中田 篤志	山井真沙実	さくら市 加藤 朋子	松野 直之	神奈川県	松山市 窪田 静
荒川さゆり	佐藤 千夏	日本調剤 宇都宮薬局	吉田 仁	渡辺 順子	埼玉県	横浜市 志保田俊男	沖縄県
安藤 正知	シブラルタ生命保険株式会社	出井 洋平	渡邊 孝夫	大田原市 渡邊 学	上尾市 勝地 京子	永田 幸雄	那覇市 酒井 洋
						新田 文恵	

■個人賛助会員 66名入会・更新（匿名6名）

宮城県	宇都宮市 小堀 徹	宇都宮市 武井 大	日光市 結城 誠治	埼玉県	港区 酒井三貴子	石川県	岡山県
仙台市 田中総一郎	近藤 貴子	田中 秀子	那須塩原市 早乙女正次	和光市 浅野 政子	神奈川県	金沢市 上瀧 大	岡山市 高橋 素真
栃木県	坂本 士郎	田村 雅子	小山市 佐藤千恵子	川越市 森脇 浩一	藤沢市 吉原 美貴	滋賀県	長崎県
宇都宮市 安藤 正知	櫻井 則子	塚田 貴子	栃木市 青木浩一郎	千葉県	大和市 新田 文恵	大津市 鈴木 順子	西彼杵郡 下村千枝子
池本喜代正	佐藤 千夏	床井 忠夫	大澤 光司	市川市 金屋 友子	川崎市 小竿 順子	草津市 高塩 純一	鹿児島県
太田 照男	下泉 秀夫	宮坂 真耶	大友 崇義	東京都	横浜市 小坂 仁	奈良県	始良市 西 枝里子
岡部 昇子	助名 弘美	渡邊 孝夫	高根沢町 佐藤 正行	西東京市 西川 義昌	志保田俊男	橿原市 加藤 久和	沖縄県
金田千恵子	助名 善夫	日光市 川味 卫セ	菅野 安子	世田谷区 大熊由紀子	新潟県	愛媛県	那覇市 酒井 洋
川中子武保	須藤 勝則	福田 栄子	壬生町 松野 直之	目黒区 下島 恵子	南魚沼市 内納 静子	松山市 窪田 静	
倉井カツ子	大門 亘	松尾 由記		荒川区 中川 真			

■団体賛助会員 入会・更新 7団体（匿名1名）

宮城県	栃木県	鹿沼市 向つくも薬局 下妻和彦	福岡県
大崎市 医療法人心の郷 穂波の郷クリニック	宇都宮市 株式会社工業 糸井 規雄	山梨県	久留米市 一般社団法人バンビーノ福祉会
	ししど内科胃腸科クリニック	中巨摩郡 医療法人社団健峰会 げんきキッズクリニック	

ご寄贈
ありがとうございました。

多くの方々から寄贈品をいただきました。誌面の都合により、すべての寄贈品を掲載できず、申し訳ございません。心より御礼申し上げます。



「うりずん応援団」とは…

「うりずん応援団」はうりずんに関わる全ての方々（利用者様、ご家族様、ボランティアさん、関係機関の皆様、ご支援者や協賛企業の皆様、そしてスタッフ等）が会員となり、共にうりずんを応援していこうという活動です。



うりずんHP

【うりずん応援団 協賛企業会員】

Special会員	— あなたのキャリアにエールを — キープキャリアール® KEEP CARRIERE
Special会員	食と健康のプロ集団 K.K. 日本栄養給食協会 Diet
Special会員	マロニエ交通
Special会員	有限会社 鈴建
Special会員	株式会社 栄
Regular会員	栃木トヨタ整備株式会社
Regular会員	ものがたりを乗せて。 はやぶさ交通
Regular会員	至誠法律事務所
Regular会員	こども相談センター えーとす KIDS CONSULTATION CENTER E-TOS
Regular会員	あなたの誇りを建てる。 Panasonic Homes パナソニックホームズ北関東株式会社
Regular会員	アーバンエルシー
Regular会員	株式会社 パワーホットメディカル

うりずん応援団に、ぜひご参加ください！

うりずんは、活動の趣旨に賛同し、寄付や会費、ボランティア等でご支援くださる個人や団体、企業を「うりずん応援団」と名づけ、支援者の輪を広げています。一人でも多くの子どもと家族を笑顔にするためにぜひ、「うりずん応援団」にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

○うりずん応援団

継続的にご支援をいただける方は、年会費（定額）による支援をお願いします。

《賛助会員》 個人 3,000円 団体 10,000円
（寄付扱いとなります）

《協賛企業会員》 Regular 1口 10万円
Special 1口 20万円
Premium 1口 50万円

《一般寄付》（金額は任意で設定いただけます）

【各種振込先のご案内】

振込みは、ゆうちょ銀行の専用口座へお願いします。（誠に恐縮ですが、手数料は別途ご負担をお願い申し上げます）

＜ゆうちょ銀行からのお振込み＞

口座番号：00110-4-441471

口座名：特定非営利活動法人 うりずん

＜ゆうちょ銀行以外からの振込み＞

〇一丸店（ゼロイチキュー店）

当座：0441471



【オンライン寄付】

うりずんのホームページ（<http://www.npourizn.org/>）からもご寄付と賛助会員のオンライン決済ができます。（Visa/Master/Amex/ダイナースが利用できます）

【寄付金額の最大 50%が税金から戻ってきます！】

「うりずん」は「認定NPO法人」のため、うりずんへの寄付には確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。

スタッフ募集

うりずんでは、職員（常勤・非常勤）を募集しています！



特に若いエネルギー
募集中です！

＜募集職種＞

看護師・介護福祉士・ヘルパー・OT・PT・ST・保育士・相談支援専門員（障がい分野での相談支援業務経験者のみ）

＜事業内容＞

医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア、ホームヘルプ、児童発達支援、放課後等デイサービス、訪問看護など

障がい福祉分野を経験された方やこれから経験したい方で、うりずんの事業に関心のある方、新事業立ち上げに興味のある方…是非うりずんと一緒に働きませんか！

急募中

★平日の午前（9:00～14:00）、午後（15:00～19:00）、土曜勤務可能なパート保育士、介護職、看護師を急募中です！（勤務時間等応相談）

詳細はうりずんまでお問い合わせください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

連絡先 ☎ 028-601-7733（日・祝祭日はお休みです）

ボランティアも募集しています！

5月再販!!

JAMMIN×うりずん コラボチャリティーTシャツ

前号でもお知らせしたチャリティーTシャツを5月に再販します!! 昨年12月にご購入いただいた皆様、誠にありがとうございます。

前回は、一週間と短い期間でしたが、今回の販売期間はなんと5月1日から5月31日までです。白系のアイテムに使われるインクカラーは、「ダークブラウン」です。

今回は、前回なかった新アイテム(長袖シャツ等)が追加になっています。ご購入を希望される方は、JAMMINさんのホームページからご購入ください。

うりずんスタッフが着ている写真をうりずんのFacebookに載せておりますので、サイズ感などそちらを参考にさせていただけたらと思います。

Tシャツを1枚買うと100~700円がうりずんに寄付となります。お問い合わせいただければ幸いです。(佐藤英治)

【ご注意ください】

- ・ JAMMINさんのホームページでは様々な団体さんとのコラボTシャツを販売していますので、うりずんのデザインをお選びください。
- ・ うりずんでは、販売はしておりません。
- ・ 前回のインクカラー(グリーン)は購入できませんのでご了承ください。
- ・ 受注生産になりますので、返品交換はできません。

◆ Tシャツのサイズは、ユニセックス(男女兼用)

◆ キッズサイズ : S 90 ~ 100cm
M 110 ~ 120cm
L 130 ~ 140cm

■ JAMMINさんのHP
<https://jammin.co.jp>



▲ Tシャツカラーとスタッフの身長

◀ うりずんっ子もモデルになってくれました。



大きな木の周りに、いろんな生き物が集まっています。木の豊かな恵みを受けて、皆穏やかに、楽しくそれぞれの生を生きています。大きな木はうりずんさんの活動そのものであると同時に、どんな人も自分らしく生きられる社会への願いを込めたデザインでもあります。

"It is a good day to be happy", 「今日は、ハッピーになるのに良い日」というメッセージには、どんな人も、どんな障がいや壁があっても分け隔てなく、当たり前前の幸せな日々を過ごすことができるんだよという思いを込めました。

THIS WEEK
DESIGN
今週のデザイン



♥ 4月から保育士として入職いたしました田島愛です。毎日楽しみながら活動していきたいと思ひます。社会人1年目で分からないことばかりですが、皆様のお力添えを頂きながら頑張りたいと思ひます。よろしくお願い致します。

● 新ひいスタッフの紹介 ●



♥ 4月1日よりうりずんで働かせていただいております益子郁子と申します。可愛いお子様たちに囲まれて、幸せです。長年の夢であった訪問看護ステーションを立ち上げられるように、勉強中です。安全・安心・安楽の心がけを忘れず、おひとりおひとりに寄り添った支援をしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



♥ はじめまして。4月からお世話になります、保育士の齋藤由美子です。初めての出会う皆さんと新しい世界で活動できることを楽しみにしております。美味しいものを作ることと、孫と遊ぶことが元氣の源です!

編集後記

三寒四温の春から季節は巡りうりずんのお庭には さいのぼりがゆゆうと泳いでいます。
今回 うりずん通信に聞かせていただいた多くの出会いと学びを頂きました。
ありがとうございました。
うりずんを元気づけてくださっている皆様
本当に心から感謝です。

渡辺みゆき



うりずん通信・テレマカー

第41号 2022年5月1日発行

<https://www.npourizn.org/>



《編集・発行》 認定特定非営利活動法人 うりずん
〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1
TEL: 028-601-7733(代) FAX: 028-665-7744(代)
Mail: urizn@hibari-clinic.com
《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス